

凍結する前に！ 水道管の冬支度をお願いします

冷え込みが厳しいときは、水道管の凍結や破裂の恐れがあります。水道管が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、修理代などの思わぬ出費がかさむことになります。事前に対策し、凍結防止に努めましょう。

【問い合わせ】水道課業務担当(☎282-1711 内線1156)

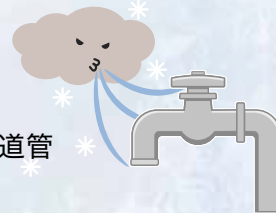
こんなときは凍結に注意！

- ☑ 氷点下の予報が出たとき
- ☑ 気温が低く風が強いとき
- ☑ 旅行などで長期間水道を使用しないとき



こんなところが凍結しやすい！

- ☑ 風当たりの強いところにある水道管やメーター
- ☑ 北向きで日陰にある水道管やメーター
- ☑ むき出しになっている水道管
- ☑ 家の外にある蛇口



4つの対策で凍結を防止しよう！



1 水抜きをする

冷え込みが厳しい時は、必ず水抜栓の操作を行しましょう。※中途半端に回すと水漏れが続く仕組みのため、開け閉めの際は最後までしっかりと回してください。

2 水を流したままにする

水抜栓がない場合は、蛇口から水を少しだけ出したままにしましょう。※流した分の水は料金がかかるため、出し過ぎに注意が必要です。



3 水道管を保温する

露出している水道管や蛇口は、市販の発泡スチロール製保温材や電気式の凍結防止帯(いずれもホームセンター等で購入可能)を巻き付けましょう。※布類は水分を含んで余計に凍結するため使用しないでください。

4 メーターボックス内を保温する

メーターボックスの中に、水道メーターを保護するように保温材(発泡スチロールや布切れなどをぬれないようにビニール袋に入れたもの)を詰めましょう。※検針時に取り出しやすいよう、小袋に分けてください。



凍結してしまったら…

軽い凍結のときは水道管や蛇口にタオルを巻き付け、ゆっくりとぬるま湯をかけるか、ヘアドライヤーなどでゆっくり溶かしましょう。※破裂する恐れがあるので、熱湯は絶対にかけないでください。



破裂してしまったら…

すぐにメーターボックス内のバルブを閉め、東海村指定給水装置工事事業者(村公式ホームページに掲載)に修理を依頼してください。※修理にかかる費用は個人負担となります。



▲村公式HP

